

新しい市長のもつでの最初の議会論戦、引き続き「住民が主人公」の立場で奮闘

摂津市議会「第3回定例会」が 引き続き、「第4回定例会」10月25日から11月14日までの が来週から始まります。昨年度決算を踏まえて2025年度予算編成方針なども作ら

朗新市長の所信表明が述べられ、続いて副市長・教育長の人事を採決しました。その後、2023年度の決算報告が行われ、閉会中の審査が11月19日～26日の間に各委員会で行われました。

また、11月11日・12日の本会議では、増永わき・安藤かおる・ひろ豊の各議員が一般質問に立ち、新市長の市政運営の方針についてや、公共交通の問題、PF0A汚染問題、マイナ保険証、学校給食の無償化、学童保育、生活保護制度、物価高騰のもとで市民の暮らしをどう支えるのかなど質問し、意見や要望など訴えました。(ウラ面でも一部紹介)

摂津市議会「第3回定例会」及び「決算委員会」終了 引き続き12月6日から「第4回定例会」が行われます

この議会では冒頭に嶋野浩一朗新市長の所信表明が述べられ、続いて副市長・教育長の人事を採決しました。その後、2023年度の決算報告が行われ、閉会中の審査が11月19日～26日の間に各委員会で行われました。

☆ 定例会の最後に
役員改選が行われ、新三役が決まりました。

議長 三好 義治 (民主市民連合)
副議長 香川 良平 (大阪維新の会)
監査委員 ひろ 豊 (日本共産党)

6件の意見書を可決

日本共産党提出(1～4)を含め6件の意見書が可決されました。1・2は新日本婦人の会から請願が出され、10月末に行われた議会運営委員会で請願趣旨の説明などとして訴えられていたものです。

11月12日の本会議で可決し、政府や関係行政機関等に、摂津市議会からの意見書として送付されました。

1. 性暴力救援センター・大阪 SACHICO の存続と体制強化を求める意見書 (全員賛成)
2. 「2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業」のあり方の再検討を求める意見書 (賛成多数・維新のみ反対)
3. 物価高騰に見合う老齢基礎年金等の支給額の引上げを求める意見書 (賛成多数・維新のみ反対)
4. 物価高騰に見合う生活保護基準の引上げ等を求める意見書 (全員賛成)
5. 自動運転移動サービス等の社会実装に向けた環境整備を求める意見書 (全員賛成)
6. 慢性閉塞性肺疾患(COPD)の潜在的な患者に対する適切な対応を求める意見書の件 (全員賛成)



別府2-22-22
TEL090-9254-7643

民生常任委員会
議会運営委員会

ひろ豊

千里丘東5-11-6-302
TEL090-3976-5963

文教上下水道常任委員会
監査委員
議会だより編集委員会

安藤かおる

鳥飼野々3-24-3
TEL090-1919-3951

総務建設常任委員会

野口ひろし

昭和園8-11-108
TEL090-7095-4929

総務建設常任委員会 (委員長)
駅前等再開発特別委員会
都市計画審議会

「第4回定例会」の日程(予定)

12月3日(火)の議会運営委員会で日程を正式に決定

月日	曜日	会議名
12/6	金	本会議・議会議案提出〆切
12/9	月	文教上下水道常任委員会
		民生常任委員会
12/10	火	総務建設常任委員会
12/12	木	駅前等再開発特別委員会
12/17	火	議会運営委員会
12/19	木	本会議(一般質問)
12/20	金	本会議(一般質問)・議案採決

11月11日・12日の本会議で増永議員、安藤議員、ひろ議員が一般質問を行いました。

増永わき議員

PF₆O₄汚染について

問 PF₆O₄流出防止対策の遮水壁工事をダイキン工業が行っている。効果、近隣住民の井戸の濃度、敷地内の情報公開、敷地外対策について伺う。

答 **生活環境部長** 近隣井戸は昨年2万6千ng/l、今年3万ng/l、効果はいずれ出る。情報公開は促している。敷地外対策は工事完成を注視する。

問 濃度上昇ということは遮水壁に効果はない。情報公開も進展ない。敷地外対策はすぐ必要だ。工事完成はいつか。

答 **生活環境部長** 未定。

問 安威川以北の水道水を供給する太中浄水場のPF₆O₄濃度が上昇したが、原因を問う。

答 **上下水道部長** 井戸1本を休止中。原因究明は難しい。

問 近くのガランド水路が原因ではないか。下水処理施設から安威川へ放流される処理水から、2003年に6万7千ng/lという世界的汚染が発覚。原因はダイキン工業の下水だ。同じ処理水が長年ガランド水路に流されてきた。調査すべきではないか。

答 **上下水道部長** 下水道法に規定ないので調査しない。

問 PF₆O₄はじつにも影響強い。保護者から「給食室に浄水器を」と要望。設置どうか。

答 **教育総務部長** 暫定目標値を下回っているのが安全。

増永議員のその他の質問項目

- ◎ マイナ保険証一本化でなく現行の保険証を残すことについて
- ◎ 性暴力支援センター・大阪SACHEROの存続について

安藤かおる議員

新市長の「市政運営の方針」について

問 市長が所信表明で述べた「ウェルビーイングを踏まえたまちづくり」を問う。

答 **市長** 「ウェルビーイング」とは、身体的・精神的・社会的に良好な状態を指し、単なる病気や貧困の回避に留まらない幸福感や生活の質の向上を目指す概念。この「ウェルビーイング」を「市民の持続可能な幸福」を実現していくことであると捉えている。

問 全体の奉仕者として市職員体制の強化や子ども、高齢者、障害者等のケアを担う専門職の安定雇用が必要である。見解を問う。

答 **市長** 高度な知識や技術が必要となる専門職の人材確保において、募集対象年齢の上限拡充や1年間に複数回の採用試験を行なっている。1年更新の会計年度任用職員については、報酬の見直し、勤勉手当の導入のほか、2回までの任用回数制限を撤廃していく。

公共交通の充実について

問 地域公共交通協議会における市民参加を問う。

答 **建設部長** 市民参加の必要性は認識。本協議会には2名の市民委員が参画している。交通事業者中心の分科会の協議内容を共有し、理解を深める意見交換会を重ねることで公共交通利用者の目線で意見やニーズを発信する役割を果たしている。

ひろ豊議員

物価高騰のもとで公共料金等の負担軽減を行うべきについて

問 厳しい物価高が続く中で、とりわけ低所得者への対策は不十分。市の独自施策をおこなう必要性を問う。

答 **市長公室長** 国における総合的な対策が必要。市としては生活に困窮する市民に寄り添った役割を果たしていくことが肝要と考えている。

問 水道料金の改定について当面は先送りしているが、上下水道ビジョンの中間見直しの考え方を問う。

答 **上下水道部長** 料金改定については値上げをする自治体もあるが、可能な限りの経営努力を行っている。老朽管の更新や耐震化などの必要な設備投資と、経営の健全性のバランスを保ち、持続可能な財源見直しを試算する。

問 生活保護基準や年金額、賃金の底上げが追い付いていない中、当面は市が決められる公共料金等の引き上げは避けべき。市長の見解を問う。

答 **市長** 市民生活は厳しいものと感じている。一方で行政サービスに係るコストも増えていく中、将来世代に負担を強いることのないよう財政の舵取りを行わなければならない。慎重に判断していきたい。

ひろ議員のその他の質問項目

- ◎ 学校給食の無償化について
- ◎ 学童保育事業について
- ◎ 生活保護制度利用者の現状について

